

躍る

地域エネマネ企業

②のはら家電（岐阜県大垣市）

地域で自家消費太陽光、蓄電池、V2Hといった、再生可能エネルギーとエネルギーマネジメントシステムの導入を提案する電気工事店・施工店が増えていく。既存顧客からの紹介など地域密着の強みを生かしながら、新たな領域への挑戦として、エネマネビジネスに参加しようとしている。そんな「チャレンジャー」を紹介する第2弾には、大垣市を本拠とするのはら家電を取り上げる。

太陽光＋蓄電池＋V2Hの新規顧客増加中 県補助金も後押し

大垣市で「電パークの」催事開催など、地域密着はらら、「電パークまき」営業を展開する。

た」を運営する創業55年ののはら家電。2力所の店舗を中心に、地域内出張の無料対応、発生業務の即日対応や、年7回の

から住宅への太陽光＋蓄電池＋V

2日の設置を次々と受注している。新たに設置する案件が3件、既設太陽光への増設が1件で、何れも問い合わせに応じたもののだが、「最も身近で相談に乗れるエネマネ屋」を目指す野原社長、だからこそ成約できた。

太陽光＋蓄電池を自宅に設置。EVも所有し、自身の体験を判断基準として提供する。また提案時には月々の電気料金の内訳や、太陽光設備についてなどを、システムを購入する利点が腑に落ちるまで基本的なところから説明する。「仕組みを理解するとお客様は前向きになる。他社からセー

野原社長は「エネマネは地域の電気店にとって、お客様に対する光熱費削減という付加価値だけでなく、脱炭素や持続可能性に貢献できる素晴らしい商品。お客様、地球、電気店がみんな幸せになれる、地域のエネマネ屋にとって最適な提案を続けたい」と意気込む。



のはら家電代表取締役社長・野原実氏

す。そのため提案に使う資料には、必ず数字の根拠があるシミ